

URL: <https://dousokai.site/zezekoukou/> E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp
編集・発行/滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所2-11-1 TEL: 077-524-4295 FAX: 077-524-1732
発行日/令和8年4月13日



(同窓会HP)

巻頭エッセー	1
奎文堂閉店、旧美富士食堂の現在	1
令和8年度 総会のお知らせ	1
班活動の今昔・関東膳所高同窓会	2
新入会員	2
周年同窓会・記念同窓会	3~5
周年・記念同窓会予告	5
会員交流会・同窓会ゴルフコンペ	
土曜講座 報告	6
同窓会事業のご案内・石鹿文庫	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
班活動報告	8
サクラサク・膳所高NEWS	8
編集後記	8

巻頭エッセー



地域とともに127年

校長 横井正弘

令和7年4月に膳所高校に赴任して以降、奉職させていただきましたが、日々身の引き締まる思いで過ごしてまいりました。同窓会の皆様方には、平素から本校の教育活動に對しまして有形・無形のご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、私も18年ぶりに膳所高校で働かせていただく機会を得ましたことを大変ありがたく思っております。一方、教育行政での仕事が長かったため、その間に多くの教職員も入れ替わり、生徒の様子も以前とは少し違ってきているように感じています。そんな中で、最も驚かされたのが、学校周辺の大きな様変わりでした。同窓会の皆様に、地域の近況をお知らせするとともに、今の、またこれからの膳所高校について、校長としての思いをお伝えできれば幸いです。

まずは、「奎文堂」さんです。創業121年の老舗ではありますが、令和7年12月末に看板を下ろされました。1904(明治37)年、本校のルーツである第二尋常中が開校した6年後に、4代目店主の久保泰幸さんの曾祖父が、文具を売り始め、やがて教科書などを扱うようになったそうです。閉店にあたっての新聞取材で久保さんは、甲子園球場のグラウンド整備を担う阪神園芸になぞらえ、「教科書を使う主役の生徒や先生の緑の下の力持ちになりたい思いで、誇りをもって仕事をしてきた」と話されました。多くの卒業生にとっては、「入学してすぐ、初めて使う教科書を買った場所」「大学受験を考えて参考書を探した場所」「放課後に立ち読みしながら友だちと語り合った場所」など思い出はさまざまではないでしょうか。また世代を超えて、親も子も同じようにお店に通ったかもしれません。このことから感じますのは、本屋さんとはただ本を売る場所ではなく、「地域の記憶」を積み重ねてきた存在だったのだという事です。私も、通勤の際にシャッターが下りた姿を見ると、そこにあった笑い声や、紙のにおい、店主さんの「いらっしやい」という声まで思い出されて、胸がぎゅっとなります。

また、本校の多くの生徒のお腹を満たしてきた「美富士食堂」さんが、令和6年に閉店となりました。昭和33年に開店して以来、66年間、大盛りの店として営業され、お店にはいつもにぎやかな声と笑顔があふれていました。その跡地には今、真新しいアパートが建っています。さらに、創業から100年以上地域に愛された「初田餅菓子店」さんも、令和4年1月末をもって閉店されました。大福やおぼろぎ、どら焼きなどさまざまな和菓子を提供されてきました。「百年史」を紐解くと、とりわけ創初期から昭和初期にかけて、多くの生徒や教員がお世話になったとの記述がありました。この他、膳所本町駅を降りてすぐの「富士薬局」さんも閉められ、現在は更地となっています。

本校周辺の商店街と同様、いわゆる「地域のお店」を取り巻く環境が厳しくなっている現象は全国至る所で起こっており、少子化や郊外型大型店の進出、経営者の高齢化、経済状況の変化などが要因として考えられ、時代の流れの一つなのかもしれません。また、膳所学区自治連合会にお伺いすると、この地域では独居老人が徐々に増えているとのことで、地域社会そのものが変化しているとも感じます。

奎文堂(久保書店) 閉店、旧美富士食堂の現在

膳所高校生が長きにわたり大変お世話になってきました奎文堂(久保書店)さんが令和7年12月30日をもって閉店されました。閉店直前の12月19日にはお昼休みの時間帯に書店前で生徒会長をはじめ、生徒及び教職員から感謝の花束を贈呈しました。

同窓会HPに膳所高新聞(新聞班発行)を転載いたしましたので是非ご覧ください



奎文堂前 生徒会よりお礼の花束贈呈



美富士食堂跡地(膳所本町駅前より) 電柱上方の看板はそのまま。右は清徳院

い。(HP) 右上バナー「公報バックナンバー」 ↓「JUNGIDO 令和8年43号」
また一昨年度閉店された「美富士食堂」は、令和7年6月に集合住宅に姿を変えています。

講演要旨


商標戦略とは、「商標登録によってブランド価値を守り育てる戦略」をいいます。企業の知財戦略において、商標戦略は重要な位置を占めています。

本講演では、私が弁理士として企業の知財支援に携わる中で培ってきた商標戦略のノウハウを、具体的なデータや実例とともにお伝えします。特に、会社経営者や個人事業主の方にとって参考となる内容を中心にお話しします。

あわせて、現在の仕事に通じる背景として、膳所高校代や霞が関官庁時代に体験したことについてもご紹介いたします。

●懇親会
午後1時からの懇親会に出席していただける方には、当日、総会受付時に懇親会費8,000円をいただきます。出席を申し込まれ、急用等によりやむを得ず欠席される方は早急に事務局に連絡をお願いします。無断及び当日連絡の欠席の場合は、会費を申し受けます。

なお、同封のハガキは、総会・懇親会に出席の方、および住所等に変更のある方のみご返送下さい。下記の二次元コード(QR)からもお申込み、住所変更が出来ますのでご利用下さい。



のが変化しているとも感じます。しかし、そのような時代であるからこそ、学校が地域に開かれた存在となり、学校と地域が連携して地域課題の解決に取り組むことは、とても重要であると考えます。膳所高校が創立されて127年、生徒や教職員は言うまでもなく、本校がどれだけ地域の方々によって支えられてきたか。今、改めて考えると、感謝の念に耐えません。そのご恩に報いる意味でも、これからも地域行事への参加やボランティア活動、学校施設の開放など、学校と地域が支え合うより緊密な関係を築くことで、さらなる膳所高校の成長と地域の活性化の両立が実現できるよう努めていきたいと考えています。

令和8年度 総会のお知らせ

会員の皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和8年度 定例総会

●日時 令和8年5月17日(日) 午前10時
(午前9時30分受付開始)

●場所 琵琶湖ホテル
大津市浜町2-40
電話 077(524) 1511

●総会次第

●議事

- 一、令和7年度会務報告・部会報告
- 一、令和7年度会計報告・会計監査報告
- 一、令和8年度事業計画・予算審議
- 一、その他

●講演 「知財で差をつける」
中小企業・スタートアップのための商標戦略

講師 児嶋秀平氏 (膳所高31回昭和58年卒)

●講演者のプロフィール

児嶋国際特許事務所 所長弁理士。
1983年、膳所高校卒業。
1988年、京都大学法学部卒業後、通商産業省に入省。以後、経済産業省、警察庁、外務省などにおいて、30年間にわたり政策立案や国際交渉に従事。
徳島県警察本部長、経済産業省北海道経済産業局長などを歴任。
2021年、弁理士登録を機に、児嶋国際特許事務所を創業。
現在は、商標戦略を通じた中小企業・スタートアップのブランド保護に力を注いでいる。

班活動の今昔

◆化学班

班長 桐山 遥

私たち化学班は、各々で興味関心のある研究テーマを決めて、実験をしています。その成果は、滋賀県高等学校文化連盟自然科学部門によって開かれる春季研究発表大会、秋季研究発表大会という二つの場で発表しています。春季大会では口頭発表を中心に評価されますが、秋季大会では口頭発表に加えて論文審査も行われます。



膳所高校で化学の授業が始まるのは二年生からです。一年生の間は教科書を自学する、先輩方や先生に質問するなどして手探りで実験を進めていきます。最初の課題は「正体不明の物質が何か調べる」という実験を一からやってみるというものです。問題集では、何をやるか決まっていますが、私たちは同定のために方針を決め、仮説を立て、実験方法を考えます。得た結果が予想通りに行くことは少なく、試行錯誤の繰り返しだということを学べます。その後、研究テーマを決めていきます。

新たに始まった取り組みとして、企業研修があげられます。今年度は環境分析に取り組みされている株式会社「日吉」に訪問させていただきました。分析検査を私たち生徒が学校で事前に実施した値と、日吉で当日に実施した値とを比較し、検討する実習を行いました。私たちが測定した値、日吉の社員の方が測定した値、日吉にある自動分析機によって測定した値の三つで比較したのですが、学校での測定値は他二つと比べて大きく異なりました。研修を通して、化学が社会でどのように役立っているのか、測定値の信頼性や再現性の確保の方法、誤差の対処などを学びました。また、社員の方との交流の機会も設けられて



各々が疑問に思うことを聞いていました。今後も研究を続ける中で、大切にすべきことをたくさん学べました。こ

新入会員



膳所高校での学び

令和8年3月卒業 久保 繁俊

夢と希望を胸に膳所高校に入学してから、早くも3年が経ちました。膳所高校で過ごした日々は、人生の中で最も短く、最も濃い三年間でした。高いレベルで友人と競い合う膳所高校での生活はとても有意義なものでした。その中で、数値で測ることの出来ない「非認知能力」を膳所高校で培うことができました。その力は私の人生において大きな糧になると思います。体験入学のとき、膳所高校では数字で表すことのできる能力ではなく、「非認知能力」を伸ばすと言われました。正直、そんなことはできるのか？と疑問に思いました。数値で表すことはできないため、客観的な証明は難しいかもしれませんが、成長出来たと確信していることがあります。それは、本番で力を発揮する力です。

私は、中学の頃、メンタルが弱く、練習では上手くいっても、本番になると失敗してしまうということがありました。緊張や焦り、あるいは練習不足など、原因は一つに定まりませんが、自分には自信が欠けていたと思います。自信がないと思いつつ行動をとることができません。迷ったまま行動すると失敗する

る可能性は上がり、さらに、自分のとった行動に後悔が残ります。そのような負の連鎖に陥っていた優柔不断な私に自信をつけてくれたのが膳所高校で過ごした経験です。

文武両道。膳所高校に通いながら班活動に励むのはとても大変です。私は生徒会副会長と班活動の副キャプテンを務めました。生徒会活動では、学校行事を常に支えてくれている生徒会総務部や参与の先生方と協力し、実務的な交渉に励みました。班活動では、副キャプテンとして、班全体の目標であった近畿大会出場をかけた試合で勝利をおさめることができました。一つ一つタスクをこなすこと、毎日練習に励むこと。そうした自分の努力を信じていることが「自信」だと思います。

自信は人には見えません。さらに、自分が自信をどれだけ持っているかを量で表すことはできません。けれど、自分だけは少しだけ昨日より頑張れたのか、あるいは少しサボってしまったのか全て分かれます。毎日コツコツ頑張ることで、少しずつ自信をつけていくのが「非認知能力」を身につけるために必要だと思います。

膳所高校は、学業や全国大会で好成績を収める人など、高い目標に向かって努力する仲間たちがいます。そんな仲間たちから刺激を受けながら日々を送ったからこそ、自分の力を伸ばす高校生活にすることができました。

最後に、私には夢があります。国会議員になって国家運営を担うことです。現在は、地元の衆議院議員や、市議会議員の方と政策について語り合い、個人的に政策提言などを行っています。具体的な行動に移して、自分でチャンスをつかみ取ることも、膳所高校で学んだことの一つです。険しい道のりだという自覚はありますが、世のため人のために自分にできることを一つ一つ成し遂げていきたいと思えます。膳所高校で培った力を発揮し、母校の名に恥じぬよう、そして膳所高校の名をさらに高められるよう、精一杯努力してまいります。

◆関東膳所高同窓会

関東在住の同窓生が対象の恒例の関東膳所高同窓会が10月18日、コロナ禍による中断を経て6年ぶりに開催されました。

80年卒の野村正育さんの司会で開幕し、64年卒の大道也さんの発声による乾杯でスタート。卒業生の最近の受賞や活躍、膳所界隈の話などがニュース形式で紹介され、ゆかりのある出席者のスピーチ、さらに同窓ゴルフコンペをはじめとする「班活動」の紹介などで大いに盛り上がりました。締めくくりに74年卒の神山等さんによるエールと校歌斉唱でクライマックスを迎えました。今回、最年長は1957年卒から最年少の2021年卒まで幅広い年代の約90人が参加しました。

関東膳所高同窓会では、日ごろからランニング、音楽、食べ歩きといった「班活動」を通じて学年を超えた交流が盛んで、こうした取り組みにて、同窓生のみならず、年に一度の同窓会を楽しみにしてくださり、同窓会にて幹事団に対して多くの同窓生から感謝の言葉を頂いたことは、本当にうれしく、今後の励みとなっています。



2025年度は滋賀県秋季総合体育大会で団体3位という成績をおさめ、全国選抜近畿地区大会・団体2部及び近畿公立高校テニス大会・団体の部に出場しました。中でも、近畿公立高校テニス大会は当班が過去に何度も出場を決めた大会で、多くの先輩方が出場してきたこの大会に出場することは私たちにあって1番の目標でした。団体戦はシングルス3本、ダブルス2本に加え、補欠2人の合計9名で出場します。全員合わせて9人の当班は、全員が選手として団体戦に臨みました。この中の一人でも欠けたら出場は叶わなかったと思います。全員で力を合わせて目標を達成したこの経験はチームとしての大きな成長につながりました。

高校テニスは一年を通して6回と大会が多く、班員は勉強と練習に追われ、忙しい日々を送っています。しかし、その分やりがいも達成感も一層大きいのが当班の魅力です。次の目標は春季総体でインターハイの出場権を獲得することです。恵まれた環境やいつも支えてくださる参与の先生方やコーチ、保護者など、周りへの感謝を忘れず、これからもさらに上を目指して練習に励んでいきます。これからも応援よろしくお願ひします。



周年・記念 同窓会

63周年記念同窓会

(膳所高10回、昭和37年卒業)

2025年11月28日、琵琶湖ホテルで、第10回卒業生の同窓会を開催しました。これまで、同窓会運営をになつてきたメンバーには、「もう、前回で終わりにしよう」という声もあつたのですが、外野席からの開催希望の声もあり、2018年から7年ぶりの開催となりました。(出席68名)

当日は久しぶりの快晴にも恵まれ、開会1時間前から続々と参加者が集まり、受付席の前ではミニ同窓会のような賑やかな人の輪がいくつもでき開会前から賑やかな会場となりました。

12時、元放送部、木村隆夫君の司会で会話ははじまり、白井勝好君の指揮の下、校歌斉唱があり、さらに物故者への黙祷がなされた。続いて世話役代表の野口から、7年ぶりの開始を祝うとともに、7年間に多くの友人がなくなつたこと、さらに今日の会合に参加したいのだが健康が許さぬという声が多数あつた、今日ここに集えた事の幸せをかみしめたいと言う挨拶があり、さらに、大西叡宏君のキャンパの音頭で、賑やかに会が始まりました。

その後、「森・里・海を結ぶフォーラム」の代表である田中克君から、多様な生き物を育み琵琶湖の大切さと、湖国に住む我々の責任の大きさを訴える講話があつた。

各テーブルから近況や、若き日の思い出の報告があり、さらに廣嶋(村上)忠代さんの朗々たる詩吟が披露され、会場は大きく盛り上がった。最後に、全員がたち、大きな輪になり「琵琶湖周航の歌」を歌つた。皆が名残惜しい気持ちの中で、木村君から閉会の辞が



あり、和やかな雰囲気の中会は終了した。なお、帰りに「又、3年後に会おう。」という声もあちこちで聞かれた。(野口隆)

55周年記念同窓会

(膳所高18回、昭和45年卒業)

同窓会を開催した令和7年10月12日は、偶然にも会場の琵琶湖ホテル近辺では伝統ある大津祭が執り行われていました。祭りの賑わいを楽しみながら大津駅から会場へと足を運んでくれた同窓生も多くいました。96名がホテル三階瑠璃の間に集い55周年記念同窓会を開催しました。卒業後7回目となる同窓会で、回を重ねるにつれ物故者となる仲間が増えさみしく思う中ではありましたが、その仲間のことも含めて昔の学生時代を懐かしみ大いに語り合いました。参加いただけなかった方の返信メッセージも楽しく読み合いました。

来賓として澤幸雄先生にご臨席を賜り、いつまでも若々しくされているお姿に励まされました。2時間半ほどの楽しい懇親会を校歌斉唱で締めくくり、その後同会場で2次会に入りました。ここにも71名が引き続き参加し話は尽きることがありませんでした。

各クラスから集まつた15人の幹事で計画し準備を重ねてきました。同窓生の笑顔や楽しそうに交流している姿が至る所で見られ、何よりの成果だったと思つています。最終の幹事会では次回の開催を卒業60周年記念同窓会とし、令和11年10月14日(日)に開催することが決まりました。今回参加できなかった方も是非ご参加ください。再会まで皆さんお元気で！(山下由行)



55周年記念同窓会

(膳所高19回、昭和46年卒業)

厳格に55周年と数えたと令和8年3月開催で丁度のところ参加者が少しでも元気なうちにと年度初めの令和7年5月22日(木)琵琶湖ホテルに86名の参加を得て開催しました。

今回の同窓会では在学当時流行した懐かしのフォークソングをテーマに、案内状送付の際に思い出のフォークソング曲記載を依頼し人気ランキングを作成。その結果を基に3年後輩のフォークデュオ「デュオ トーン ゼゼ」のお二人によるライブ演奏&合唱を楽しみ、更に人気ランキング上位3曲を当てた人には豪華プレゼントが当たるという趣向をこらして大いに盛り上がりしました。

今後の開催については5年先の開催を待たないとの多くの意見を踏まえ75歳を迎える令和9年度中の開催を予告して散会しました。お昼スタートの同窓会でしたが、お開きの後の二次会には半数近くの参加者を得て大津の夜は更けていきました。(幹事)



50周年記念同窓会

(膳所高23回、昭和50年卒業)

高校卒業から実に半世紀を経て、5年ごとに続けてきた同窓会も一つの区切りを迎える会となりました。

令和7年4月5日、琵琶湖ホテル瑠璃の間に恩師3名のご臨席を含む最多157名の参加を実現し、いつにもまして旧交を温めることが出来ました。

光陰矢の如し。50年前に遵義堂跡から放たれた矢は、いかに光と陰をすり抜けてきたか。青雲の志を抱いた学生服の青年の熱き血潮は冷めていないか、セーラー服の乙女の紅き唇は褪せていないでしょうか。

会場の瑠璃の間から一歩出ると、郷愁を掻き立てる景色。我が琵琶湖と対岸には比叡山や比良山系の山並み。今回は歓談中のイベント等は極力避け、仲間とゆっくり語り合う時間を大切にすることにしました。

開会セレモニーでは、白川実行委員長、恩師、鳴寺先生からのお言葉に加えて、後輩である三日月滋賀県知事からの心温まる祝辞ビデオをいただいたことができました。

その後、我々の高校時代を記録したビデオを視聴しながら、昔話に花を咲かせることが出来ました。滋賀の特産品を景品にしたビンゴゲームを1次会に盛り込み喜んでもらえました。校歌、びわこ周航の歌、締めは恒例の村山企画委員のお礼の一言と一本締めで、1次会は幕を閉じました。

1次会、2次会ともにつくり時間がとれたおかげで、長く会えなかった友と「あの頃」を語り合い笑い合い、古希を目前に控え、18歳の「あの頃」に戻れたという感想が多く寄せられました。何より「元気で生きて良かった」と実感する日となりました。



50周年記念同窓会

(膳所高24回、昭和51年卒業)

令和7年5月10日、羽野先生、井上先生をお迎えして総勢145名で昭和51年卒業の「50周年記念同窓会」を挙げる。コロナ禍の影響で45周年が中止となり、早期開催の声が多く1年前倒しの開催となりました。

一次会では30秒ルールで全員による「ひと言スピーチ」、応援団主導で「校歌斉唱」、二次会では1・2年生のクラス別に席替えをしたことから尚一層盛り上がりました。

「高校生活の3年間、青春時代というあの大切な瞬間をともしに同じ校舎で過ごした。ただその一点で何年たっても集うことが出来る、話すことが出来る。初めて話しても仲良くなる。」その幸せを噛みしめながら、会場には歓喜の花があちこちで咲き、ともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

それぞれが半世紀の人生を胸に一堂に会した私たち、同窓会を通じてとても大切な時間を今回も共有することが出来ました。昭和51年卒業の同窓生に心から感謝いたします。

(山本正)



45周年記念同窓会

(膳所高28回、昭和55年卒業)

十年ぶ

りの同窓会。五年前は、コロナの影響で中止をせざるをえませんでした。そして、令和8年1月3日土曜日。

琵琶湖ホテルに、恩師6名、卒業生121名、合わせて127名の参加となりました。前日は、恒例のゴルフコンペを実施。毎回、優勝者が翌日の乾杯の発声をする

ことに。運よく幹事の私が優勝してしまい、音頭をとることになりました。司会進行は、NHKのアナウンサー野村正育さんと瀬古祥子さん。さすがプロです、スムーズな、時間通りの運びとなりました。途中、恩師の方々への記念品贈呈と貴重なお言葉を頂戴したり、松田達也さんと北村順子さんのミニコンサート、野村くんの膳所高校界隈ニュースのレポートや、杉原雅人くんの高市早苗首相と大学当時、同じバンド仲間



披露など、目まぐるしい催しの展開でびっくりするほど時間が過ぎるのが早かったです。私たちと年齢差を感じさせない岡本(月原)先生に、一本締めで閉めていただきました。ありがとうございました。そして、二次会、三次会へと運び、話題が尽きない時間を過ごしました。

今回は、初めてクラスごとに、代表幹事を設け、各クラスごとに集約をして、それをまとめていくという形をとったので、すこくうまくいったように思います。クラス代表幹事のみならず、ありがとうございます。

そして、次の五年後、クラス代表幹事のみならず、そのままた担っていいよと伺い、心強い限りです。また、50周年記念でお会いしましょう！
それまで、みなさん、お元気で！

(布施健次)

40周年記念同窓会

(膳所高33回、昭和60年卒業)

6回目ともなれば「もうそろそろそろやろうかな」「そやなあ」と幹事二人で約1年前に話してとりあえず場所を押さえ、数回打ち合わせのゆるい準備となりましたが、令和8年1月3日晴れ渡る絶景を臨む琵琶湖ホテルに於いて、山本正史先生、山川悟先生、森野邦彦先生、須田武志先生、宮下ゆたか先生をお迎えし卒業生107名が集い、40周年記念同窓会を開催しました。

集合写真を撮り森野先生に乾杯のご発声を戴き宴が始まれば、どんな青春真っ只中のあの頃と同じ賑やかな輪があちこちに広がりました。殆どが今年還暦を迎えることになりました。自然とクラス毎や班毎、出身中学毎など金屏風前で集合写真大会が始まり、懐かし楽しい時間を良い記念に残すこともできました。参加できなかった同級生もフェイスブックの「膳所高校昭和60年卒同窓会」グループでは是非ご覧ください。次回また集まるのが、もう楽しみでなりません。



25周年記念同窓会

(膳所高48回、平成12年卒業)



2025年8月11日、琵琶湖ホテルにて5名の恩師と、70名の同窓生が集い、卒業25周年記念同窓会を開催しました。久しぶりに出会う旧友たちと、当時・これまで・現在・これからを語り合う時間はあつという間に過ぎました。恩師の皆様にも我々の現在を見て頂きました。今を精一杯生きている姿を見ることが、我々のできる最大の恩返しです。そんな私たちに先生方が目を細めてくださっている表情が見られたこと、そして、変わらずお元気でいらっしやることを、大変うれしく思いました。今の私たちがいるのは、当時熱心にご指導いただいた先生方のおかげです。ご臨席くださった恩師の先生方はもちろん、当日やむを得ずご欠席となられた先生方にも、改めて心から御礼申し上げます。そして、何より私たちが育んでくれて母校がこれからも発展を遂げ、在校生の皆さんが夢に向かって力強く歩んでいけることを心から祈念しています。

この再会をきっかけに、同窓生同士の絆がさらに深まり、それぞれの人生や仕事に良い刺激となることを願っています。またいつか、集いましょう！

(竹内良樹)

20周年記念同窓会

(膳所高54回、平成18年卒業)

令和7年8月10日、琵琶湖ホテルにて卒業20周年記念同窓会を開催しました。お盆前の何かと忙しい時期でしたが、恩師の先生方6名を含め、総勢61名の同窓生に出席していただきました。新型コロナウイルス感染症の関係で15周年同窓会を中止したこともあり、10年ぶりの同窓会となりました。久々の再会で会話に花が咲き、開宴前からあちらこちらで楽しい声が聞こえていました。

懇談、先生方からのご挨拶、余興とシブシブな会の構成でしたが、にぎやかな声が途絶えることはありませんでした。最後は、「サンキュー膳所高」の合唱で会を締めくくり、大盛り上がりの中、閉会しました。本同窓会開催にあたって、同窓会事務局をはじめ、多くの方々に協力していただいたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。また、あらためてこの素晴らしい仲間存在に感謝し、この絆を今後も大切にしていきたいという思いです。次回同窓会での再会も楽しみにしています。



周年・記念同窓会 予告

◆65周年記念同窓会 (膳所高9回、昭和36年卒)

日時 令和8年(2026)9月22日(火・祝)
受付 11:30、開宴 12:00
場所 琵琶湖ホテル 3階 瑠璃の間
会費 10,000円(予定)
連絡先 松村 文夫 (077-522-1350、090-3658-6639)
その他 案内状は7月中旬発送の予定

◆60周年記念同窓会 (膳所高14回、昭和41年卒)

日時 令和8年(2026)10月25日(日)
11:00 受付開始
11:45~ 集合写真撮影
正午~15:00 式典・懇親会
場所 びわ湖大津プリンスホテル
会費 13,000円
連絡先 昭和41年卒60周年記念同窓会実行委員会
(藤村洋二、中山みち代)
m.nakayama@palletmill.jp
その他 会費は当日の集合写真代金(A4サイズ、持ち帰り)も含まれています。

◆55周年記念同窓会 (膳所高20回、昭和47年卒)

日時 令和8年(2026)11月15日(日)
場所 琵琶湖ホテル
会費 13,000円
連絡先 徳岡 仁 (090-3230-8051)
tokuokah@symphony.pala.or.jp
その他 今後の同窓会案内は主にメール等でいきます。未登録の方は連絡先を世話人まで。再会を楽しみにしております。

◆35周年記念同窓会 (膳所高39回、平成3年卒)

日時 令和8年(2026)8月9日(日)
・一次会 12:00~ (受付 11:30~)
・二次会 15:00~
場所 琵琶湖ホテル 3階 瑠璃の間
会費 一次会・二次会両方参加 14,000円
一次会のみ参加 10,000円
二次会のみ参加 4,000円
連絡先 (代表) 藤本健太 (070-5434-3356)
野田将人 (090-3972-8789)
神野綾子 (080-5613-2867)
☆クラスLINE or 郵便にてまもなく案内いたします。

◆30周年記念同窓会 (膳所高44回、平成8年卒)

日時 令和9年(2027)1月2日(土) 12:00~
場所 琵琶湖ホテル
会費 未定
連絡先 西田 元 (080-3112-7526)
その他 詳細案内は後日案内予定。

◆20周年記念同窓会 (膳所高55回、平成19年卒)

日時 令和9年(2027)1月2日(土)
18:00 開宴(17:30 受付)
場所 琵琶湖ホテル 3階 大宴会場
会費 13,000円(予定)
連絡先 20周年年同窓会実行委員会
(h19.zeze.hs@gmail.com)
当日の概要や申し込み方法、最新情報などまとまり次第、次のサイトにて案内します。また、たくさんの級友とURLを共有してもらえると嬉しいです。
<https://h19zezehs.wixsite.com/main>



◆15周年記念同窓会 (膳所高59回、平成23年卒)

日時 令和8年(2026)9月22日(火・祝) 18:00開宴
場所 ホテルグランピア京都
会費 12,000円を予定
その他 案内、出席確認は別途行わせていただきます。

◆二十歳の記念同窓会 (膳所高73回、令和7年卒)

日時 令和9年(2027)1月11日(月・祝) 13:00~15:00
場所 びわ湖大津プリンスホテル3階プリンスホール
会費 未定(後ほど連絡します)
連絡先 鹿野夢翔 (080-5555-6778)
tomato.shougi@gmail.com

5周年記念同窓会

(膳所高69回、令和3年卒業)

令和8年1月4日、膳所高校卒業5周年記念同窓会をホテルグランヴィア京都にて開催しました。当日は総勢249名と非常に多くの方々に参加いただき大変嬉しく思います。中でも、ご多忙にもかかわらずご参加くださった当時の担任の先生方には、心より感謝申し上げます。久々に顔を合わせる参加者がほとんどの中でも、当時の思い出話を花を咲かせているうちに、一瞬で高校時代に戻ったような不思議で温かい空間になりました。今はそれぞれ違う場所で自分らしい生き方を模索しているからこそ、それぞれとの会話が私にとっても刺激となり明日を生きたる活力が湧き上がる貴重な時間になりました。

卒業後も一緒に集まれる仲間がいることを改めて幸せに感じます。最高に楽しい時間をありがとうございました。5年後の10周年記念同窓会も大変楽しみです。10周年記念同窓会にも、今回と同様に多くの皆様にご参加いただけたことを心より願っております。
(近藤慶佳)



二十歳の記念同窓会

(膳所高72回、令和6年卒業)

令和8年1月12日(成人の日)、膳所高校二十歳の記念同窓会をびわ湖大津プリンスホテルにて開催しました。当日は296名の卒業生が参加する賑やかな会となりました。また、大変お忙しい中3年次の担任団の先生方10名にご出席いただきました。ありがとうございます。卒業してからも2年しか経っていないはずですが、集まった旧友たちの顔を見ると高校時代のことがもう「懐かしい」と思えるようになっていました。各々の2年間は濃密なものだったようで、近況報告をしているだけで時間が経ってしまいました。それぞれの道を行く友たちの姿を目にし、膳所高校で共に高校生活を送れたことを誇りに思うと同時に、自分も頑張らねばと鼓舞されました。

忙しい進行となってしまいましたが、楽しむことができたというお声を頂き安堵しております。5周年記念同窓会も再び大勢が参加してくれることを望んでいます。そして、その際にはより成長した姿を見せられるよう精進していきたいと思っております。最後に、ご参加くださった卒業生・先生方および、開催にご協力くださった同窓会事務局や大津プリンスホテルの皆様へ深く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。



◆第11回会員交流会 「大人の修学旅行 びわこ漬け体験」報告

令和7年6月8日、57名の参加のもと会員交流会を開催しました。琵琶湖汽船高速遊覧船「MEGUMI号」で大津港を出発後、ヨシ笛演奏、沖島、沖の白石、多景島、竹生島、白髭神社、琵琶湖大橋港と琵琶湖漬けの一日を過ごしました。

会報誌「UNGI DO」を眺めている時にふと目に留まった「大人の修学旅行」。びわ湖にある4つの島をクルーズできるという内容に興味を惹かれ、思い切って友人と参加をさせていただきました。船で湖北方面を訪れるのはフローティングスクール以来となります。

四島のうち唯一の有人島である「沖島」では、島で日常を送られている方々の暮らしを間近で感じ（郷土料理のえび豆で作られたほんのり甘みのあるコロツケが絶品でした）、絶滅危惧種のカワナナが生息する「沖の白石」をMEGUMI号より眺め、上陸できるとは思っていなかった「多景島」では2018年に崩落した題目岩を目の当たりにし、湖上の広々とした空のもと、これまでの歴史に思いを巡らせました。「竹生島」では日本三大弁天のひとつに挙げられる宝厳寺にお参りし、都久夫須麻神社で参加者の方々と共に「かわらけ投げ」を体験。思い切り投げたものの私の力では鳥居までは遠く及ばず…。

日本一の広大な湖を船で周って楽しめるのも、滋賀県の魅力のひとつだと改めて感じました。楽しいイベント開催実現の裏には先輩方大変なご尽力があったことと拝察いたします。皆さまに心より感謝申し上げます。



多景島 題目岩



MEGUMI号船内



竹生島

(星 若奈、東尾麻衣
平成7年卒)

◆第30回同窓会ゴルフコンペ報告

令和7年9月15日(月・祝)、メイプルヒルズゴルフ倶楽部にて、同窓生によるゴルフコンペが開催されました。

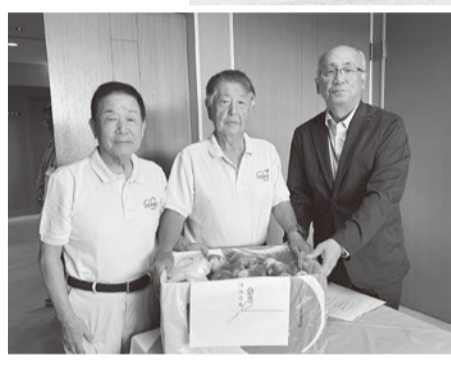
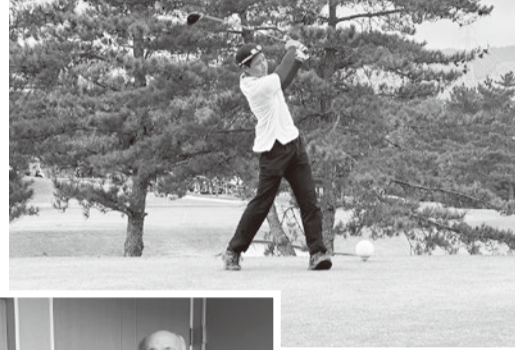
少し暑さが心配されましたが、昭和30年卒から、今年が平成24年卒までの140名がご参加下さいました。ありがとうございました。

今回は久しぶりに30歳の若い方々も参加していただき、「先輩との合同チーム」という形でプレーしていただきました。今後も様々な年齢層の方に参加いただき、世代を超えた交流の場になるよう努めてゆきたいと考えています。

令和8年度は9月21日(月・敬老の日)を予定しております。連休中になりますが、お誘いあわせの上たくさんのご参加をお待ちしております。

〈主な結果報告〉

- 個人優勝 圓花徳司様 (昭和48年卒)
- 個人準優勝 岡野幸信様 (昭和41年卒)
- 個人3位 田村宗樹様 (昭和41年卒)
- 団体優勝 昭和41年卒
- 団体準優勝 昭和36年卒
- 団体3位 昭和54年卒



団体優勝 昭和41年卒

◆土曜講座 Zプログラム「膳所高校同窓会連動企画 「ようこそ先輩 社会人編①、②」

20年余りの膳所高校で実施されてきました「土曜講座Zプログラム」に、今年度初めて同窓会連動企画として社会人OBを講師に招き実施しました。

第一回は令和8年1月24日(土)、元任天堂事業部長、中国事業推進部部長、現プラチナゲームズ(株)副社長執行役員兼CBO、山根隆雄氏(平成2年卒、剣道班OB)を、第二回は2月7日(土)、現JR西日本草津駅駅長、木原彰彦氏(昭和63年卒、バレー班OB)をそれぞれ講師に、お招きしました。

両講座には在校生約30名に加え、同窓生にも参加希望者を募り(同窓会HPより募集)20名余り、のべ50名余りの参加をいただきました。木原駅長は制服・制帽で講演を下さりインパクト絶大でした。

今後同様の企画を継続、拡大し、後輩の在校生と伴走してゆける同窓会にしてゆきたいと考えています。



山根隆雄氏



木原彰彦氏

◆同窓会事業のご案内◆

①第31回膳所高校同窓会ゴルフコンペ

- 日 時…令和8年9月21日(月・祝)
 - 場 所…メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀市信楽町田代65
 - スタート時間…8:00アウト・イン同時スタート
 - 競技方法…ダブルペリア方式による前半9ホールのハーフコンペ(ストロークプレー)
 - プレー費…キャディ付 15,400円
 - セルフ 11,000円
 - 会費…3,000円
 - 定員…40組
- お一人での申し込みも可能です。学年対抗もあります。(同学年4名以上で学年チームを編成)

②第12回会員交流会 舞台観劇「成瀬は天下を取りに行く」

今年度は、2024年本屋大賞受賞、宮島未奈さんの「成瀬あかりシリーズ」の舞台となった膳所高校ならではの企画を準備しています。

日 時…令和8年(2026)7月19日(日)
午前11時開演(観劇後、食事)
場 所…京都南座
参加費…13,000円(S席観劇、食事代を含む)
申込方法を含め、詳細は同窓会総会(5月17日)及び膳所高校同窓会HPにてご案内いたします。
(申し込み締め切りは5月末を予定しています)



©「成瀬は天下を取りに行く」 宮島未奈/ざしきわらし(イラスト)/新潮社

*①②共、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。参加当日の納入も受け付けております。
*また天候上の事情等により内容の変更及び中止の可能性が有ります。
*①②共、お申し込みは同窓会事務局までお願いします。定員になり次第締め切ります。(077-5244295)

令和7年度(2025)「石鹿文庫」寄贈図書

編著者名 (備考)	書名・巻次(版次) ※敬称略
市橋 寛久 (平13卒)	・コオロギたちは語らない・炎上読書と失われざる可能性
植村 渉 (平8卒)	・Roboingで読む! ロボットプログラミングの入門
尾立 要子 (昭59卒)	・エヌ・セセル「黒人」の発明
清原 茂史 (平10卒)	・自治体財政課業務ナヒ
佐野 静代 (昭62卒)	・近代の政治家と京都の別荘地帯 琵琶湖疏水が交差点と脈
田中 葵共著 (令4卒)	・鹿に襲・100年後のあなたへ、十人と十人の邂逅
田村 仁共著 (昭58卒)	・卒業生インタビュー集・武
田村 貴正 (平3卒・寄贈者は高岡書院の監修)	・薄腰工学
中村 成臣 (昭38卒)	・君はまた、海を知らない デジタル特別編集号
西山 豊 (昭42卒)	・随筆集「ナース」ハイな日々
原 稔明 (昭46卒)	・森羅万象を数字で
原田 道雄 (昭31卒)	・技術は人なり心なり・感性のときめき
真野 佳博 (昭45卒)	・テクニク琵琶湖を周してみたら
	・ポイントが分かる分子生物学

石鹿文庫は「同窓生執筆の著書」を集めた文庫です。ご寄贈をお願いします。

令和7年度 同窓会会務・会計報告 / 令和8年度 同窓会総会提出議案

◆令和7年度 同窓会会務報告

令和7年(2025)

4月 20日	JUNGIDO第42号発行 (27,027部発送)	
25日	令和6年度同窓会会計監査	
5月 7日	第1回役員会	
18日	令和7年度同窓会総会 (琵琶湖ホテル)	97名参加
6月 8日	第11回会員交流会「大人の修学旅行 びわこ漬け体験」	57名参加
7月 3日	第2回役員会	
9月 15日	第30回ゴルフコンペ (メイプルヒルズゴルフ倶楽部)	140名参加
10月 27日	第3回役員会	
31日	会費納入再度のお願い発送	

令和8年(2026)

1月 24日	土曜講座「Zプログラム」に協力	
2月 7日	〃	
10日	第4回役員会	
3月 2日	同窓会入会式	
3日	第74回膳所高等学校卒業式 (令和7年度)	
9日	臨時役員会	
21日	令和7年度同窓会理事会 (視聴覚室)	
	JUNGIDO第43号校了 (作業終了)	

令和7年度開催 周年・クラブOB会

<周年同窓会>

令和7年	4月 5日	50周年記念同窓会 (昭和50年卒)	琵琶湖ホテル	157名参加
	5月 10日	50周年記念同窓会 (昭和51年卒)	クサツエストピアホテル	145名参加
	22日	55周年記念同窓会 (昭和46年卒)	琵琶湖ホテル	86名参加
	8月 10日	20周年記念同窓会 (平成18年卒)	琵琶湖ホテル	61名参加
	11日	25周年記念同窓会 (平成12年卒)	琵琶湖ホテル	75名参加
	10月 12日	55周年記念同窓会 (昭和45年卒)	琵琶湖ホテル	96名参加
	11月 28日	63(60)周年記念同窓会 (昭和37年卒)	琵琶湖ホテル	68名参加
令和8年	1月 3日	45周年記念同窓会 (昭和55年卒)	琵琶湖ホテル	127名参加
	〃	40周年記念同窓会 (昭和60年卒)	琵琶湖ホテル	107名参加
	4日	5周年記念同窓会 (令和3年卒)	ホテルグランヴィア京都	249名参加
	12日	二十歳の記念同窓会 (令和6年卒)	びわ湖大津プリンスホテル	306名参加

<クラブOB会・その他>

令和7年	10月 13日	関東膳所高同窓会	品川Pivot	90名参加
------	---------	----------	---------	-------

◆令和7年度 同窓会会計中間報告 (令和7年4月1日~令和8年2月28日)

一般会計

《収入の部》

項目	予算額	決算額 (令和8年2月末)	予算比	備考
前年度繰越金	5,422,793	5,422,793	0	
令和7年度分前受会費	5,260,000	5,260,000	0	会費会計より振替
令和7年度会費	4,000,000	4,021,000	21,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,065,000	1,056,000	△9,000	新規同窓会入会金 352名
雑収入	40,000	45,572	5,572	受取利息、 タックシール代等
合計	15,787,793	15,805,365	17,572	

《支出の部》

項目	予算額	決算額 (令和8年2月末)	予算比	備考
総会費	500,000	367,773	△132,227	総会
会議費	150,000	75,298	△74,702	役員会、理事会
交際費	30,000	15,807	△14,193	
通信費	1,000,000	899,709	△100,291	会費振込用紙宛名 印刷、総会はがき等
旅費交通費	50,000	24,020	△25,980	役員会等
支払手数料	450,000	382,584	△67,416	会費納入振込手数料、 各種振込手数料
雑給与	1,600,000	1,272,990	△327,010	
コンピューター関係費	40,000	16,500	△23,500	ソフトメンテナンス 料金
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	60,000	31,831	△28,169	コピー用紙他
備品・消耗品費	250,000	470,368	220,368	複合機リース料等
広報発行費	900,000	820,882	△79,118	「JUNGIDO」 42号発行
広報発送費	2,600,000	2,532,524	△67,476	広報封入封緘、 広報送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グロー バル研修助成等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・ 体育班活動支援
慶弔費	50,000	0	△50,000	
周年同窓会お祝い金	600,000	330,000	△270,000	周年記念同窓会11 件・その他1件
各部会費	850,000	764,757	△85,243	
[広報部会費]		5,110	5,110	
[事業部会費]		567,431	567,431	ゴルフ案内、 会員交流会
[総務部会費]		192,216	192,216	会費納入再依頼
予備費	4,492,993			
合計	15,787,793	10,169,843	△5,617,950	

差引残高 5,635,522 (15,805,365-10,169,843)

会費会計

《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	12,938,400	R6年度迄の前受金
令和7年度会費	4,021,000	当年度分
前受会費	5,666,000	R8年度以降分の会費
合計	22,625,400	

《支出の部》一般会計へ振替

項目	金額	備考
令和7年度会費	4,021,000	当年度分の会費
令和7年度分前受会費	5,260,000	R6年度迄の前受金から
合計	9,281,000	

差引残高 13,344,400 (22,625,400-9,281,000)

会費会計及び一般会計残高

18,979,922 (13,344,400+5,635,522)

特別会計

《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	12,016,798	
寄付	1,628,465	同窓生より
利息	20,703	
合計	13,665,966	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	
合計	440	

差引残高 13,665,526

名簿会計

《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,709,588	
名簿売上金	16,800	
利息	2,913	
合計	1,729,301	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	
合計	440	

差引残高 1,728,861

◆同窓会財産目録 (令和8年2月28日)

I. 一般会計及び会費会計 合計 (単位 円)

☆郵便局			
郵便貯金	1口	7,006,396	
郵便振替	1口	503,948	
☆滋賀銀行			
本店営業部	普通預金	1,498,052	
膳所支店	普通預金	9,833,756	
☆手許現金		137,770	
		計	18,979,922

II. 特別会計

☆滋賀銀行			
膳所支店	普通預金	13,665,526	
		計	13,665,526

III. 名簿会計

☆滋賀銀行			
膳所支店	普通預金	1,728,861	
		計	1,728,861

◆会費の納入をお願いします◆

令和8年度の会費を同封の振込用紙にて、コンビニエンスストアまたは郵便局で納入ください。振込用紙が入っていない方は、会費を前納されている方です。

1年分 2,000円
5年分 10,000円



スマートフォン
アプリからも
納入できます!!

*同窓会の運営は、皆様の会費で成り立っています。ご理解ご協力をお願いします。

◆令和8年度 予算(案)

(令和8年4月1日~令和9年3月31日)

一般会計

《収入の部》

項目	R8年度予算案	R7年度予算	備考
前年度繰越金	5,444,088	5,422,793	
前受会費	5,254,000	5,260,000	会費会計より振替
当年度会費	4,000,000	4,000,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,065,000	1,065,000	新規同窓会入会金 3,000円/人
特別会計より繰入	550,000	0	
雑収入	40,000	40,000	受取利息、 タックシール代等
合計	16,353,088	15,787,793	

《支出の部》

項目	R8年度予算案	R7年度予算	備考
総会費	500,000	500,000	年次総会(毎年5月 第3日曜日)
会議費	150,000	150,000	理事会、役員会
交際費	30,000	30,000	
通信費	1,000,000	1,000,000	会費振込用紙宛名 印刷、総会・理事会 出欠はがき
旅費交通費	50,000	50,000	役員会等
支払手数料	450,000	450,000	各種振込手数料
雑給与	1,750,000	1,600,000	事務局職員費・交通費
コンピューター関係費	20,000	40,000	ソフトメンテナンス料金
ホームページ運用費	64,800	64,800	サーバー運用費
事務用品費	60,000	60,000	
備品・消耗品費	100,000	250,000	複合機リース料等
広報発行費	900,000	900,000	「JUNGIDO」 43号発行
広報発送費	2,600,000	2,600,000	広報封入封緘、 広報送料
学校助成金	1,550,000	1,000,000	特別講座・グロー バル研修助成
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	文化班・ 体育班活動支援
慶弔費	20,000	50,000	
周年同窓会 お祝い金	500,000	600,000	30,40,50,60周年は 50,000円 その他5年毎 30,000円
各部会費	850,000	850,000	各部会活動費
予備費	4,658,288	4,492,993	
合計	16,353,088	15,787,793	

◆令和8年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

○総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じて開催します。母校との連携・協議を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。

○事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動・Zプログラムの奨励に努めます。

○広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実にも努めます。

○財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。

事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。

ホームページアドレス <https://dousukai.site/zezekoukou/>
メールアドレス zeze-h-dousukai@poem.ocn.ne.jp

サクラサク!

主要大学合格者数

〈主な国立大学〉		〈主な公立大学〉		〈主な私立大学〉	
北海道大	6名	国際教養大	2名	千葉工大	11名
東北大	4名	横浜市立大	2名	青山学院大	1名
筑波大	3名	岐阜薬大	3名	学習院大	2名
埼玉大	1名	滋賀県立大	9名	慶応大	7名
東京海洋大	1名	京都市立芸大	1名	上智大	6名
お茶の水女子大	1名	京都府立大	8名	中央大	4名
東京大	5名	京都府立医大	2名	東京農大	1名
東京芸大	1名	大阪公立大	21名	東京理大	14名
東京科学大	1名	兵庫県立大	1名	日本大	1名
東京農工大	1名	神戸市外大	2名	法政大	3名
横浜国立大	2名	岡山県立大	1名	明治大	2名
富山大	1名			早稲田大	19名
金沢大	1名			朝日大	1名
福井大	3名			愛知工業大	5名
信州大	2名			中京大	2名
岐阜大	6名			豊田工大	1名
静岡大	4名			名城大	1名
名古屋大	2名			京都産業大	12名
名古屋工大	3名			京都女子大	20名
三重大	1名			京都橘大	21名
滋賀大	11名			京都薬大	18名
滋賀医大	5名			同志社大	180名
京都大	49名			同志社女子大	8名
京都工芸繊維大	4名			佛教大	4名
大阪大	40名			立命館大	330名
大阪教育大	1名			龍谷大	70名
神戸大	29名			大阪医薬大	4名
奈良女子大	4名			大阪工大	4名
和歌山大	1名			大阪歯大	2名
鳥取大	1名			関西大	28名
島根大	1名			関西医大	3名
岡山大	1名			関西外大	1名
広島大	10名			近畿大	38名
徳島大	1名			摂南大	8名
九州大	3名			大和大学	10名
長崎大	1名			関西学院大	21名
熊本大	1名				
大分大	1名				
〈その他〉					
防衛医科大学校	2名				
防衛大学校	1名				
オーストラリア国立大学	1名				
トロント大学	1名				
トロント大学スカボロ校	1名				

※令和8年3月27日現在 ※過年度卒業生を含む

班活動報告

2025年度 全国レベル大会出場者・結果

ボート班 全国高等学校総合体育大会 ローイング競技大会 男子舵手付きオドルフル団体 第6位 渡邊悠飛・林樟太郎・林昂・矢村怜久・服部大樹・村田日向・西村吉生 女子舵手付きオドルフル団体 準々決勝 石本葉菜・片矢結菜・木瀬陽万理・富田歩実・飯野珠央・梅田道帆・東山愛 国民スポーツ大会ローイング競技 男子シングルスカル 矢村怜久 女子舵手付きオドルフル団体 富田歩実 少年男子舵手付きオドルフル団体 準決勝 林樟太郎・渡邊悠飛・服部大樹・林昂 全国高等学校選抜ローイング大会 男子舵手付きオドルフル団体 10位 久保秀明・林昂・矢村怜久・西村吉生・服部大樹・久岡琉斗・森本和伸 女子舵手付きオドルフル団体 9位 遠藤咲季・富田歩実・松本日和・萩野心・梅田道帆・東山愛・木村英	卓球班 全国高等学校卓球選手権大会 男子シングルス 下岡謙太 天皇杯・皇后杯 2026年全日本卓球選手権大会 男子シングルス 下岡謙太 ラグビー班 全国高等学校合同チーム ラグビーフットボール大会 KOBELCO CUP 2025 芝田宗汰 馬術班 全日本高等学校馬術競技大会 団体 伊豫風咲・木村厚友・星野健太郎・廣田集 水泳班 国民スポーツ大会水泳競技 少年男子B 町田大翼 少年男子A 高橋康成 全国高等学校選手権水泳競技大会 男子100M背泳ぎ 高橋康成 スキー 全国高等学校スキー大会 女子ジャイアント・スラローム 中條理紗 女子スラローム 中條理紗 全日本スキー選手権大会 女子ジャイアント・スラローム 中條理紗 国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会 女子ジャイアント・スラローム 中條理紗	合唱班 全国高等学校総合文化祭 合唱部門団体 一澤環・白井ひなた・前野桃花・森杏樹・一井涼音・宮原結大・岩谷奏太郎 声楽アンサンブルコンテスト 団体 二澤環・白井ひなた・前野桃花・森杏樹・一井涼音・藤井瑞希 放送班 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 川路新歌 朗読部門 伊藤杏 ラジオドキュメント部門 松本睦真 テレビドキュメント部門 藤内ひなた 創作ラジオドラマ部門 川路新歌 創作テレビドラマ部門 早藤優斗 校内放送研究発表会 岡田昇真 全国高等学校総合文化祭 放送部門 朗読部門 川路新歌 ビデオメッセージ部門 伊藤杏 新聞班 全国高校新聞コンテスト 団体銀賞 山田啓生・中西清史郎・榎坂匠人・原田晋市	書道班 全国高等学校総合文化祭 書道部門 小島奈枝 物理地学班 全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 団体 弁論班 全国高等学校総合文化祭 弁論部門 中村仁奈 全国中学・高校テレビ対決選手権 団体 榎本紗那・酒井貴大・末信明太郎・中村仁奈・堀江真・山田紗愛 ピアノ・ピアノコンペティション 西日本京都地区本戦 優秀賞 大瀧来未	かるた班 全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門(個人戦) 井上真和子・松瀬帆香・遠藤美湖・竹原優羽・波田圭太郎・廣瀬朱里 全国高等学校選手権大会 団体 竹原優羽・松瀬帆香・井上真和子・廣瀬朱里・萩原侑那・前畑結衣・遠藤美湖・松村四葉
---	--	---	---	---

高所 膳 NEWS

一年間を振り返って

令和8年3月3日(火)、本校体育館において、「第74回卒業証書授与式」が行われました。普通科312名、理数科40名、計352名が新たに膳所高校から第74期生として巣立っていきました。卒業式は例年3月1日に挙行されるのですが、今年度は3日に挙行されました。これは県立高等学校入学者選抜試験制度の変更に伴い、高校入試の日程が大きく変わったことによるものです。今年度はこの高校入試以外にも、例年にはない出来事や新しく始まった出来事がありました。今年度1年間の学校生活をこのように出来事とともに振り返ってみたいと思います。今年度に関わった大きな行事として2つ挙げられます。1つ目は、4月13日から10月13日までの半年間、大阪の夢洲で開催された「BAYCO 大阪・関西万博」が挙げられます。パビリオン建設の遅れなどが心配されましたが、累計来場者数が2901万人を超えるなど大盛況で終わりました。この万博に、本校の1・2年生が4月の校外学習で行きました。まだ完成していないパビリオンもありましたが、1970年の大阪万博以来約55年ぶりに関西で開催された万博に参加したことは生徒にとって良い思い出になりました。2つ目は、9月6日から10月27日まで開催(会期前開催も含む)された、「わたしがSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」です。この大会にも、多くの生徒・教職員が選手・大会役員・補助役員として参加しました。2学期中の開催であるため、生徒も教職員も大会と授業との両立が大変だったと思いますが、1981年に開催されたばかりの国体以来44年ぶりに滋賀県での開催に参加したことには大きな意味があると思います。「大阪・関西万博」と「わたしがSHIGA輝く国スポ・障スポ」は、いずれの事業も、滋賀の高校生にとって得難い貴重な学びの場となると考えられることから、校外学習や選手・補助役員としてだけでなく、平日に生徒が複数回参加できるように滋賀県では「滋賀・体験の日」が作られました。生徒が平日にこれらの行事に参加する場合は、「滋賀・体験の日」として、学校を欠席扱いしないものと、年間最大3回取得できるもので、本校でも「滋賀・体験の日」を活用して、多くの生徒がこれらの行事に参加しました。今年度から新しく始まった出来事としては、2月25日(水)、26日(木)に行われた、令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜が

挙げられます。昨年度までは、2月に行われる特色選抜、3月に行われる一般選抜2回の選抜のうち、いずれかで合格した生徒が本校に入学していました。今年度からは、25日の学力検査のみで合格が決まる一般選抜、25日の学力検査と26日に実施される自己推薦(本校はプレゼンテーションおよび質疑応答)で合格が決まる学校独自選抜いずれかで合格した生徒が本校に入学します。また、この新しい入学者選抜では、出願および合格発表が必ずしもeラーニング上で行われたことも、大きな変化です。毎年本校の教室のベランダからつるされた合格発表を見て中学生が喜んでいる姿を見ることができないことは少し寂しいところですが…

校内行事で新しく始まったことといえば、7月4日(金)〜9日(水)までの平日4日間で開催された湖風祭(学園祭)のうち、4日(金)の文化祭を大津市民会館で実施したことが挙げられます。7月猛暑の中、本校の体育館で実施していた3年生のビジュアル発表を、大津市民会館で実施することは、生徒の熱中症対策になると同時に、本格的な舞台で発表できたことは、生徒にとってもよい思い出になったことと思います。また9月からは、購買でのパン等の販売に加え、月に2回程度お弁当の販売を試行的に始めました。生徒および保護者がオンライン上で当日の朝までに注文し、昼休みに生徒昇降口にて販売するもので、平均70人程度の生徒が、お弁当を購入しています。このお弁当の販売につきましては来年度も続けたいと考えております。さらに、3月18日(水)、19日(木)のスポーツ大会では、キッチンカーでホットドックやカレーライス等の販売をしていただきました。作り立ての温かい食事を食べることができたため、生徒にも好評でした。

話は初めにもどりますが、今年度はあいにく小雨の降る肌寒い中での挙行となりました。横井校長先生は式辞の中で「デジタル化が急速に進む社会にこそ、リアルな人のもつ『人格と個性』が大切」であること、「高校生活で身につけた『問う力』をさらに磨き、何事も『自分事』として深く考え、人の心に寄り添える人になってほしい」と、「これからが今までの決める『膳所高校での多くの経験に価値があったかどうかは、これからの生き様にかかっている』」ことをお話しされました。

また、卒業生の言葉では、代表の松見ひかりさんが、同学年の仲間をはじめ、保護者、教職員への感謝を述べるとともに、チャップリンの名言「Life is a tragedy when seen in close-up, but a comedy in long shot. (人生は近くで見ると悲劇だが遠くから見れば喜劇である)」を引用して、「将来大変つらい状況に陥ったとしても、成長した未来の自分がいい思い出にしてくれると思えば乗り越えられるかもしれない」と卒業後の決意を話してくれました。卒業生の皆さんの今後の活躍を願っております。(教頭 比良 正仁)

編集後記

令和7年度は少し活発な動きができた同窓会でした。土曜講座プログラムへの連同企画、化学班との連携。この同窓会誌JUNGIDOの記事は新聞班の協力もいただきました。交流会も「大人の修学旅行 びわこ漬け体験」と銘打って琵琶湖一周クルーズを開催し、地元目を開ける機会を設けました。残念なお知らせも…一昨年の「美富士食堂」に続き、令和7年まで「奎文堂(久保書店)」も121年の歴史を閉じました。膳所高校の周りの風景も少しずつ変わっています。As time goes by……♪

追加の写真もHPに掲載しています。是非ご覧ください。同窓会HP(会報バックナンバー(ページ上右のパナー)) ↓ JUNGIDO 令和8年 43号からご覧ください。(広報部会担当) 田井直樹(膳所高校27回、昭和54年卒)